

第3期知床半島エゾシカ管理計画に基づくモニタリング項目(2018年5月25日一部見直し)

資料8-1

No.	評価項目	実施主体	モニタリング項目	目的・内容	調査地	計画期間					
						2017	2018	2019	2020	2021	
V01	植生	環境省	簡易的な手法による指標種の回復量調査	個体数調整地区におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため、森林植生・草原植生に固定調査ラインを設定し、指標種の開花株数等のモニタリング調査を毎年実施する。	知床岬・ルサー相泊・幌別-岩尾別(・ルシヤ)	○	○	○	○	○	
V02		林野庁	植生影響調査(森林植生、草原植生)	個体数調整地区におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため、固定調査区のモニタリング調査を行う。森林植生は、林床・稚樹・下枝調査を隔年、毎木調査を5年間隔程度で実施する。草原植生は、隔年で実施する。	森林植生: 知床岬・ルサー相泊・幌別-岩尾別(・ルシヤ)	○		○		○	
V03		環境省			草原植生: 知床岬・幌別(フレベの滝)(・ルシヤ)	知床岬ルシヤ	幌別	知床岬	幌別ルシヤ	知床岬	
V04		林野庁	植生保護柵を用いた回復過程調査(森林植生、草原植生)	植生保護柵の配置・規模の検討、個体数調整後の推移の予測のため、個体数調整地区に設定した保護柵内外の植生調査を行い、植生の回復状況などを把握する。現在森林調査区3か所(知床岬・幌別・岩尾別)、草原調査区3か所(全て知床岬)が設置されている。知床岬・幌別の森林調査区は林床・稚樹・下枝調査を隔年、毎木調査を5年間隔程度で実施、岩尾別は5年間隔程度とする。知床岬の草原調査区は10年以上が経過しているため、柵外は隔年、柵内は5年間隔程度のモニタリング調査とする。	森林植生: 知床岬・幌別・岩尾別	知床岬幌別	-	知床岬幌別	-	知床岬幌別	
V05		環境省			草原植生: 知床岬		○		○		
V06		環境省	エゾシカ採食量と回復量の短期的な調査	エゾシカ許容密度(各越冬地での捕獲目標数)の検討のため、密度操作実験(個体数調整)を行う越冬地にイネ科草本、ササの採食圧調査プロットを設定し、エゾシカの密度変化に対する植生の変化を把握する。知床岬は終了し、大きな変化があったときにのみ再開する。	知床岬 ルサー相泊 幌別-岩尾別	ルサのみ	-	-	-	-	
V07		林野庁	植生影響調査(森林植生)	半島全体におけるシカ採食圧の把握と植生回復状況を把握するため、ユニットごとの種組成・資源量・食痕率を把握する。固定調査区を設定し、5年間隔程度で立木および林床植生のモニタリング調査を行う。	全域の越冬地(標高300m未満)・標高300-600m	○	○	○	○	○	
V08		環境省	植生影響調査(海岸植生)	半島全体における植生の長期モニタリングとシカ採食圧の把握のため、海岸植生の群落構造・食痕率を把握する。固定調査区を設定し、エゾシカの影響が見られる調査区等については概ね5年に1回、影響を受けない調査区については10年に1回程度モニタリング調査を行う。	全域の海岸植生				海岸(斜里側)	海岸(羅臼側)	
V09		環境省	植生影響調査(高山植生)	半島全体における植生の長期モニタリングとシカ採食圧の把握のため、高山植生の群落構造・食痕率を把握する。固定調査区を設定し、エゾシカの影響を迅速に確認するための調査区(知床連山・羅臼湖)については概ね5年に1回モニタリング調査を行う。	全域の高山・亜高山植生	遠音別岳	連山	羅臼湖	知床岳		
V10		環境省		硫黄山の固定方形区にて、シレットコスミレの分布状況及び採食の状況を確認する。	硫黄山周辺(シレットコスミレ)	○(当面は毎年モニタリング)					
D01	エゾシカ個体数・個体数指数	環境省	エゾシカ主要越冬地におけるカウント調査	捕獲実施方法の検討(実施時期、捕獲数等決定)および捕獲事業の成果検証のため、主要越冬地においてライトセンサスや航空機からのカウント等を行い、個体数の増減傾向及び群れ構成等を把握する。	知床岬(航空カウント=旋回撮影)	○	○	○	○	○	
D02		斜里町 羅臼町 知床財団			幌別-岩尾別・ルサー相泊・真鯉(ライトセンサス・日中ロードサイトカウント)	○	○	○	○	○	○
		知床財団・林野庁			知床岬(自然死亡の把握困難)						
D03		環境省	エゾシカ間引き個体、自然死亡個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査及びデータの蓄積	捕獲事業の成果検証のため、主要越冬地における捕獲個体及び自然死亡個体の年齢・性別・頭数を把握する。また、間引き個体の体重・妊娠率等を把握する。知床岬では状況が変われば調査を再開するが当面停止。	幌別-岩尾別、隣接地域	○	○	○	○	○	
D04		環境省	エゾシカ越冬群の広域航空カウント	植生保護柵の配置や個体数調整の実施等の検討のため、ヘリセンサスによる越冬群の分布・規模等を把握(半島規模の生息数推定も合わせて実施)する。次回は2020年度の実施を予定。それ以外の年は遺産地域内の10調査区のみ実施。	全域	遺産地域内	遺産地域内	遺産地域内	○	遺産地域内	
D05	環境省	越冬地エゾシカ実数調査	捕獲数の検討のため、越冬地全体、あるいは一部区域のシカを追い出し、実数を把握する。		○ 実施せず						
E01	土壌浸食	詳細	環境省	エゾシカ季節移動調査	個体群管理に向けた地区区分設定のため、電波発信器等を用いて各越冬群の季節移動状況の詳細情報を把握する。	全域	ルシヤのみ	ルシヤのみ 実施せず			
E02		広域	環境省 林野庁	土壌浸食状況広域調査	広域的な土壌浸食の発生場所、規模等を把握する。	全域	広域植生調査に併せて実施				
B01	生態系への影響	詳細調査	環境省	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に昆虫の生息状況によって把握する。	知床岬・幌別・羅臼			○		
B02		環境省	陸生鳥類生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に鳥類の生息状況によって把握する。	知床岬		○				